

平成15年度 施策評価表

○総合計画における位置付け等

平成15年 5月30日記入

基本目標	Ⅲ ▼ 躍動し 魅力あふれる交流拠点都市をめざして	施策コード	31430
政策名 (章)	第1章 立地特性を生かした産業の振興をめざします	評価担当課	経済部 ▼
基本施策名 (節名)	第4節 商業・サービス業の集積		商業観光課
施策名	高感度な商業・サービス業の集積	課長名	梅沢道雄

1 施策の概要・目的

新商品・サービスの開発などによる商業ベンチャーの創出を支援するなど、高感度な商業・サービス業の集積に努める。

2 施策の現状

商業系ベンチャーの育成と商店街の活性化を図るため、空き店舗を使って、独創的なアイデアで新規事業や新分野に進出しようとする意欲ある事業者に対し、「チャレンジショップ支援事業奨励金」を交付し支援をしている。また、将来の産業を支える人材育成と商業振興を図るために、さがみはら産業創造センター等が開催する「子ども商業体験教室」の事業実施を支援している。

3 総事業費及び人員

(1) 施策に要している総事業費

11,424 千円……構成事務事業全体の事業費合計(人件費含む)

(2) 市民1人当りの事業費

19 円/人……人口は、61.6 万人とした。(平成15年4月1日現在人口)

(3) 全施策中の順位(事業費)

この施策の市民一人当たり事業費は、全123施策のうち、第 112 番目です。

(4) 施策に要している人員

0.79 人……構成事務事業全体の人員合計

4 評価指標

指標	指標名および指標式	指標の意図	現状値と目標値			目標
			現状	目標	達成度	目標年度
指標1	チャレンジショップの応募者数 H12 H13 H14 14 10 17	市民ニーズを表す指標として応募者数の推移をみる	現状	17 件	0 50 100	目標年度
			目標	各年20 件		達成度 85%
指標2	チャレンジショップ 開業者/入選者 H12 H13 H14 2/2 1/3 2/5 累計開業者数=5件	開業者の数により事業成果をみる	現状	累計5 件	0 50 100	目標年度
			目標	各年5 件		達成度 50%
指標3	入選し開業した者が、奨励金交付期間を終了した後も事業を継続している率 継続者 1 / 対象者 1	事業の継続性により支援効果をみる	現状	100 %	0 50 100	目標年度
			目標	100 %		達成度 100%

5 必要性…市民ニーズに合っているか、行政需要の変化に対応しているか

景気回復と産業の活性化のため、新規創業者や起業家の育成支援の事業は時機を得たものとする。

6 有効性…期待される効果があがっているか

チャレンジショップ事業は、平成12年度から実施しており平成14年度までの3年間に10件の入選者があり、このうちの5件が開業をしている。新規創業者の育成支援して空き店舗を解消するとともに、独創性のある店舗の開業により商店街の活性化が図られるなど効果があがっている。

7 効率性…費用対効果が優れているか、もっと大きな効果が得られるものはないか

チャレンジショップ事業は、改装費や家賃など開業初期投資の負担を報奨金により直接的な支援を行っている。子ども商業体験教室は、起業家育成、産業活性化という経済部として取り組む一面とともに、人材教育という教育的側面もあることから、今後教育委員会への移行を含めた事業実施の方向性を検討していく。

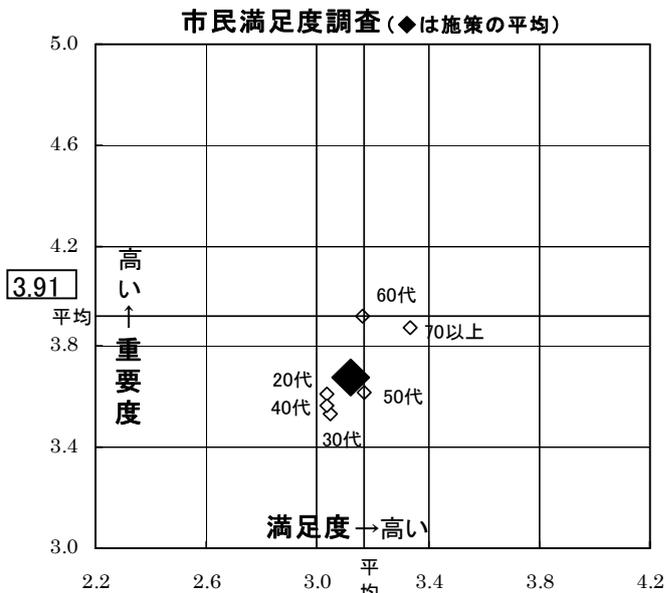
8 市民満足度調査結果からの分析(平成15年度調査)

◆この施策の満足度は、3.118で、調査した51施策の中で33番目です。

◆この施策の重要度は、3.681で、調査した51施策の中で40番目です。

◆この施策の改善要望度は、0.398で、調査した51施策の中で32番目です。

◇年齢別にみると、満足度は70歳以上で最も高く、40歳代以下で低くなっています。重要度は60歳代以上で高く、50歳代以下と差がみられます。



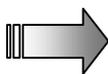
市民満足度調査は、基本施策51項目(節)について調査しています。したがって、上位の基本施策が同じ場合は同じ内容となっています。(「〇総合計画における位置付け等」参照)

9 課題…施策を実現するにあたり、課題となっていること等

長引く景気低迷に加え、消費者ニーズの多様化や価値観・ライフスタイルの変化、モータリゼーションの進展など社会経済環境の変化により、中小小売店舗の減少や駅前等の既存商業地の伸び悩みなど、本市の商業を取り巻く環境は大変厳しい状況にある。

10 今後の方向性(一次評価)

今後の方向
<input checked="" type="checkbox"/> 拡充する
<input type="checkbox"/> 現状維持する
<input type="checkbox"/> 見直し



説明及び具体的内容

チャレンジショップ支援事業については、事業目的の達成度を高めるため、平成15年度事業実施分からは、コンテスト形式で行うことをやめ、年間を通じて事業プランの募集を行い年2回の審査を実施することとし、開業の初期投資の大きな負担となる改装費の奨励を新たに加えるなどの改正を行った。

経済情勢や消費者ニーズの多様化など商業を取り巻く情勢が厳しい時代だからこそ、景気回復と産業の活性化のため、新規創業者や起業家の育成支援の事業は時機を得たものであり積極的に実施していく。

11 2次評価

説明

<input checked="" type="checkbox"/> A	市内産業の活性化と本市の将来の経済的発展のため、施策内容を充実すること。
<input type="checkbox"/> B	
<input type="checkbox"/> C	

12 外部意見

説明

公・民の役割分担を明確にした中で、効果的な施策展開を図る必要がある。

